


北栄町議会議長 青 亀 恵 一 様

議長	局長	局長補佐	係長	回議	主査
					

委員会名 (産業建設常任委員会)

北栄町議会議員 青 亀 恵 一

平成25年北栄町議会調査研究視察研修報告書

1. 日 時	平成25年7月10日～12日 2泊3日
2. 調査地	熊本県玉名市 熊本県熊本市 熊本県人吉市
3. 調査内容	<ul style="list-style-type: none">・ JR九州のトマト栽培の取り組み・ 熊本県農業公園(カントリーパーク)の取り組み・ 熊本県農業研究センターの取り組み・ 人吉球磨地方のグリーンツーリズムの取り組み
4. 意見・感想	<ul style="list-style-type: none">・ JR九州のトマト栽培の取り組み <p>地域貢献を主目的とし、JR九州はミニトマト栽培への参入した。子会社による事業展開であるが、新しい農業形態「ポットファーム」を使つてのハウス栽培。独自の栽培の工夫をしながら、ようやく経営を確立しつつある。大資本ならではの巨大な設備投資で、地域農業の発展の一助を担っているが、農家の法人化も進みつつある時代であるが、このような企業の農業参入の門戸を開くことによって、農業と農地を守っていくことも必要なことである。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 熊本県農業公園(カントリーパーク)の取り組み <p>農業県熊本を象徴する巨大な農業公園であり、農業に関する情報発信と農業理解の場として設立された。</p> <p>現在は、設立当事ほどの賑わいと利用がされていないようだが、定期的にイベントや農業学習の受入れを行っている。地域農業を振興していく上では、広く一般市民に農業の実態とその重要性を発信していくことは不可欠なことであり、その拠点としての何らかの施設は必要である。ただ、大きな箱ものにこだわるのではなく、既存施設を利用したり、いろいろな観光等の発信施設や手段を活用しながら、広く理解を求める活動を進めていく必要がある。</p>



・熊本県農業研究センターの取り組み

平成 24 年度産の米の食味ランキングで、熊本県の「森のくまさん」が最高点を獲得してトップに立った。3 年連続の特 A ランクの獲得である。さらには、暑さに強い改良種の「くまさんの力」も初の特 A ランク入りしている。

以前は、熊本の米は、「猫またぎ」と呼ばれるほど、質の悪いものであったが、農業県熊本の一念発起で、おいしい米の開発に取り掛かり、成果を挙げた。有名な米どころは、北陸や東北といわれた中で、あえて、暑い熊本の地での米の上質化に取り組んだ姿勢は、「ピンチをチャンス」に変える手法の考え方で、真摯な努力は身をつぶすということを実証した事例である。優秀なスタッフを集めての開発であったが、見習うべきは、常に開発に対するたゆまぬ努力に加えて、他に比較できない情熱の成果であるということである。

・人吉球磨地方のグリーンツーリズムの取り組み

熊本県主導で人吉球磨地方にグリーンツーリズムの取り組みを導入した。構成団体は、17 家。単に、農家での民泊や農業体験のみにこだわらず、人吉球磨地方の自然や文化等の多様な資源を活用しながら、農家のみならず、いろいろな人が民泊を受入れている。また、会員も農家レストランや地域民芸品工房や温泉施設など多彩で、地域発信の様相を呈している。

このような手法は、農業を基幹産業とし、さらにはいろいろな地域資源をもつ北栄町においても、十分に参考になる事例である。

このグリーンツーリズムの取り組みは、単に、情報発信と新たな農業収入という側面以外にも、交流を通して、受入れ農家の活性化や生きがいの創出にもつながっていると感じました。

北栄町での事業展開も期待したい。